

令和2年度事業計画

基本方針

- 1 県民が健康で活力ある生活を築くため、さらなる県民スポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指す。
- 2 長年培った選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。
- 3 スポーツを通して、次代を担う青少年の健全育成を目指す。

事業概要

本会は、基本方針の下、第2期埼玉県スポーツ推進計画が掲げる「スポーツがつくる活力ある埼玉」に貢献できるよう各種事業を推進し、スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に基づく組織運営を図ります。

公益1 生涯スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブの更なる充実と、安定した運営を推進するため、一般社団法人彩の国SCネットワークと協力し、広域スポーツセンター機能の推進を図ります。

また、各種助成事業やスポーツ啓発事業に取り組み、更なる生涯スポーツの普及・充実を図り、スポーツの魅力をアピールします。

公益2 競技力向上事業では、「国民体育大会埼玉県選手強化5か年計画」の4年目を迎え、昨年惜しくも達成できなかった、「天皇杯・皇后杯ともに第3位以上」を達成するため、「第75回国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体」では、オール埼玉体制をより強固なものとし、目標の実現に向け、諸事業に取り組みます。

とりわけ、次代を担うジュニア選手の発掘・育成の充実を目指し、「プラチナキッズ発掘育成事業」と「彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業」などで構成する「彩の国アスリート育成プロジェクト」による県内競技環境の充実と加盟競技団体による主体的な発掘・育成・強化への積極的支援を講じます。さらに、担当指導者の連携強化を図るための「ジュニア強化対策合同会議」を実施します。

また、世界に羽ばたく彩の国アスリートから、将来的に活躍が期待される選手に対し、スポーツ科学の知見に基づくサポート事業を展開し、各競技団体が配置するスポーツ科学担当者との連携の下で競技力向上を総合的に支援します。

公益3 スポーツ少年団事業では、県内・国内の交流事業をはじめとする諸事業を通して、次代を担う青少年の健全育成の充実に努めます。とりわけ、指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、市町村スポーツ少年団と連携を強め、指導者研修事業をはじめ、各種研修事業の充実に努めます。

公益4 スポーツ総合センター運営事業では、利用者のニーズに応え、トレーニング相談や利用者講習会の拡充に努め、より一層サービスの向上を図ります。

収益1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)運営事業では、利用者の安全確保を最優先に、サービス向上に努め利用者の拡大を目指します。

収益2 埼玉アイスアリーナの管理運営事業では、様々なイベント等を実施し、冬季スポーツの魅力をアピールし、利用者の拡大を目指します。

公益Ⅰ 生涯スポーツ振興事業

目標：健康で明るく豊かな地域社会の実現を目指す。

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進 【予算額：8,443,750円】

【内容】埼玉県と連携・協力して、地域住民による自主的、主体的な総合型地域スポーツクラブの組織化を図るため下記の支援業務を行う。

(1) クラブアドバイザーの配置(2名)

【内容】総合型地域スポーツクラブ等の自立した運営・活動及び育成等に関して専門的な指導を行う。

(2) 広域スポーツセンター機能推進業務

【内容】総合型地域スポーツクラブの自立した運営及び活動の支援のため、一般社団法人彩の国SCネットワークと協力し、以下の業務を行う。

ア 総合型地域スポーツクラブ等運営活動支援

(ア) 市町村に対する訪問等による専門的助言

【事業内容】クラブアドバイザーより市町村のスポーツ関係担当者等に対し、説明会や会議で、総合型地域スポーツクラブの意義や必要性等を説明するとともに、出席者等からクラブ設立に必要な情報を収集し、専門的な助言を行う。

【実施会場】県内公共施設等

【対象】行政関係者及びクラブづくりに意欲のある者

【経費】受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(イ) 総合型地域スポーツクラブに対する訪問等による専門的助言

【事業内容】クラブアドバイザーによる現地ヒアリング等を実施し、クラブの活動状況や運営状況などを把握することでクラブ運営に必要な専門的な助言を行う。

【実施会場】各クラブのクラブハウスや公共施設等

【対象】総合型地域スポーツクラブの運営に関わる者

【経費】受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(ウ) 総合型地域スポーツクラブを目指す団体に対する訪問等による専門的助言

【事業内容】総合型地域スポーツクラブを目指す団体等にクラブアドバイザーによる現地ヒアリング等を実施し、団体等の活動状況や運営状況などを把握することでクラブ設立に必要な専門的な助言を行う。

【実施会場】各団体の事務所や公共施設等

【対象】総合型地域スポーツクラブの設立に関わる者

【経費】受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(エ) 一般社団法人彩の国SCネットワークの活動支援

【事業内容】一般社団法人彩の国SCネットワークに対し、運営における活動支援を行う。

【実施会場】一般社団法人彩の国SCネットワーク事務局及び各会場

【対象】一般社団法人彩の国SCネットワーク会員クラブ関係者

〔経 費〕受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

イ 総合型地域スポーツクラブ活動実態調査の実施

〔事業内容〕県内の総合型地域スポーツクラブに対し、活動状況や課題等を把握するため、書面及び現地訪問による、概要調査を行う。

〔対 象〕97クラブ

ウ 総合型地域スポーツクラブ連絡会議の実施

〔事業内容〕県内の総合型地域スポーツクラブ代表者等を対象にクラブに関わる情報の共有やクラブ間連携を図るために連絡会議を実施する。

〔実施会場〕県内の公共施設等

〔対 象〕クラブ代表者、クラブマネージャー、クラブ関係者等

〔経 費〕受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(3) 広報活動

ア 総合型地域スポーツクラブに係わる情報提供

〔事業内容〕総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報を基に、各クラブの他、行政担当者やマスメディアなど随時情報提供を行う。

イ ホームページの掲載・更新

〔事業内容〕総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報やクラブ作りのノウハウを本会ホームページに掲載・更新を行う。

ウ 広報啓発用パンフレット等の作成

〔事業内容〕総合型地域スポーツクラブ広報啓発用パンフレットの作成を行う。

2 生涯スポーツ地域振興助成事業の実施〔助成(補助)事業〕〔予算額：2,000,000円〕

〔事業内容〕広域地区のスポーツ振興と地域文化の発展を図るため、二市町村以上の団体の交流を支援する。

〔実施期間〕令和2年4月1日から令和3年3月31日

〔事業数〕20事業

〔経 費〕助成金額：定額100,000円

(総額の1/2助成：一事業総額200,000円以上)

3 市町村体育・スポーツ協会連絡会議の開催

〔予算額：160,000円〕

(再掲：法人 1-(4))

〔事業内容〕地域における生涯スポーツの振興を図るため、市町村体育・スポーツ協会との意見・情報交換を行うとともに、関係機関・関係者との連携を強化する。

〔実施時期〕6月下旬～7月上旬で調整

〔実施会場〕東部：八潮市 西部：坂戸市 南部：川口市 北部：寄居町

〔経 費〕会場使用料・参加者飲み物代

4 日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会の開催 〔委託事業〕

(1) コーチ1：専門科目2 競技：バレーボール・バドミントン

(2) コーチ2：専門科目1 競技：空手道

〔事業内容〕 県内各地域において、スポーツ教室等で指導をする人材を養成する。

〔実施期間〕 8月～12月

〔受講対象〕 原則として、指導員18歳以上。※競技毎で別に定める。

〔経 費〕 支払参加料(個人負担：全競技共通)

共通科目：NHK学園(通信講座)へ直接払い

専門科目：日本スポーツ協会へ取り纏めて支払

5 県民総合スポーツ大会及び埼玉県駅伝競走大会の開催 〔予算額：2,300,000円〕

〔事業内容〕 埼玉県、埼玉県教育委員会及び関係団体ともに実行委員会を設置し、企画・運営に参画をするとともに、資金の提供を行なう。

(1) 県民総合スポーツ大会

〔実行委員会〕 埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会、各市町村、各市町村教育委員会、各市町村体育・スポーツ協会、各市町村レクリエーション協会、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

〔実施期間〕 5月～2月

〔会 場〕 県内各地

〔対 象〕

ア 競技部門

- ・本会加盟競技団体・県高等学校体育連盟大会・県中学校体育連盟大会・県高等学校野球連盟大会・県スポーツ少年団大会・特別支援学校大会・ふれあいピック大会・障害者スポーツ大会関係団体

イ コミュニティ部門

ウ レクリエーション部門

エ 県レク協加盟種目団体大会・県小体連地区スポーツ大会

※大会数 約500 参加者数 約400,000名

オ スポーツフェスティバル2020

〔実施期日〕 令和2年5月31日(日)

〔実施会場〕 熊谷スポーツ文化公園

〔経 費〕 支払助成金：実行委員会経費の負担(150,000円)

(2) 埼玉県駅伝競走大会

〔実行委員会〕 埼玉県・埼玉県教育委員会・公益財団法人埼玉県スポーツ協会・一般財団法人埼玉陸上競技協会・埼玉県学校体育協会・読売新聞東京本社さいたま支局・さいたま市・上尾市教育委員会・桶川市教育委員会・北本市教育委員会・鴻巣市・鴻巣市教育委員会・行田市教育委員会・熊谷市・熊谷市教育委員会

ア 第5・6部(中学生：兼全国中学校駅伝大会予選)

〔実施期日〕令和2年11月1日(日)

〔実施会場〕熊谷スポーツ文化公園内

〔参加区分〕5部 中学校男子 63チーム(6区 18.26km)

6部 中学校女子 63チーム(6区 12.26km)

イ 第1～4部

〔実施期日〕令和3年2月7日(日)

〔実施会場〕さいたま新都心駅前～熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

〔参加区分〕1部 一般男子 (新都心～熊谷6区 42.195km)

2部 市町村男子 (新都心～熊谷6区 42.195km)

3部 高校男子 (新都心～熊谷6区 42.195km)

4部 高校・一般女子(鴻巣～熊谷5区 20.7km)

〔経 費〕支払助成金：実行委員会経費の負担(ア・イで2,150,000円)

6 「県民スポーツの日」及び「県民の日」への支援

(1)「県民スポーツの日」(6月第1日曜日)・「県民の日」(11月14日)、公益財団法人埼玉県スポーツ協会創立記念日(2月26日)にスポーツ総合センターのトレーニング場を無料開放します。

(2)トレーニング相談の実施

7 スポーツ活動の支援事業の充実

〔予算額：9,292,000円〕

(1)国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動の実施。

〔内容〕公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会参加者傷害補償制度の加入促進と安全意識の向上を図る。

(2)秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援

〔実施期日〕令和2年9月6日(日)

〔実施会場〕秩父市内特設コース

〔対 象〕一般男子、高校生A・B等、全9部門

〔経 費〕支払負担金：協賛金50,000円

(3)スポーツ活動助成事業(助成事業)

〔事業内容〕本会、加盟団体等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図る。

ア サイニチホールディングス杯第5回彩の国Springフィギュアスケート競技会

〔実施期日〕令和2年5月3日(日)～5日(火)

〔実施会場〕埼玉アイスアリーナ

〔経 費〕支払助成金：4,000,000円

イ サイニチホールディングス杯埼玉県室内選手権水泳競技会

〔実施期日〕令和3年2月21日(日)

〔実施会場〕立教学院新座キャンパス

〔経 費〕支払助成金：2,000,000円

ウ スポーツ活動(環境整備)支援事業

〔内容〕スポーツ活動に必要な不可欠な競技用器具機材等の調達や活動する場所の確保などスポーツ環境の整備を行うことに助成する。

エ アイスホッケージュニア(中学生)育成事業

※埼玉県アイスホッケー連盟への助成事業

〔実施期間〕令和2年4月～令和3年3月 各月第三日曜日

〔実施会場〕埼玉アイスアリーナ

オ 女子アイスホッケー普及・育成事業

〔期日〕毎月2回程度、埼玉県アイスホッケー連盟が指定する日

〔対象〕県内在住・在学の女子、または県アイスホッケー連盟登録者等。

体験教室修了者及び県アイスホッケー連盟普及事業参加者で、埼玉選抜等で活動した者。

8 スポーツ関係団体運営補助事業の実施 〔予算額：41,755,500円〕

〔事業内容〕県民のスポーツ活動の窓口となる市町村体育・スポーツ協会及び県を単位とする競技団体に対して、その活動が円滑に行われるように各団体の運営費を補助する。

(1) 本会加盟団体運営補助事業

ア 市町村体育・スポーツ協会

40,000円＋推計人口(1月1日)×1.5円(千円以下切り捨て)

イ 本会加盟競技団体：一律150,000円

(2) 学校体育団体等補助事業

〔事業内容〕本会の他に、県を単位とするスポーツ関連の統括団体の県費補助金を取り纏めて手続きをすることにより、円滑な要求活動と事務の効率化を図る。

〔対象団体〕埼玉県学校体育協会・埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟・埼玉県女子体育連盟・埼玉県小学校体育連盟・特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会・埼玉県スポーツ推進委員協議会、7団体

9 顕彰事業 〔予算額：3,198,490円〕

(1) 埼玉県スポーツ賞

〔事業内容〕本県のスポーツの振興・発展に貢献し、その功績が顕著な者に功労者表彰を贈り表彰する。

また、国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めた選手又はチーム等に優秀選手賞・栄光賞・会長特別賞を贈り表彰する。

〔表彰の種類〕

功労賞：長年にわたりスポーツの指導に精通し、著しい功績をあげ、他の者の模範である者で、地域のスポーツの普及・発展に寄与した者。

優秀選手賞：一般及び中学生・高校生(またはチーム)が、オリンピック大会・国際大会及び全国大会等で優勝した者(またはチーム)と3位まで入賞した者(またはチーム)

栄光賞：国際競技会・国内競技会において、特に傑出した競技成績を収めたチーム・団体(栄光旗)と個人(栄光楯)

会長特別賞：世界大会等で日本を代表し、特に顕著な活躍をした本県所属及び本県ゆかりで本会加盟競技団体が認めた者、また選考委員会が認めた者。

※会長特別賞は随時

奨励賞：埼玉県内の小学校に在籍する児童で、公益財団法人日本スポーツ協会加盟の中央競技団体が主催する全国的競技大会に出場し優勝した者並びに、国際連盟が主催する国際大会で8位までに入賞した者。

〔実施期日〕 令和3年3月20日(土)【春分の日】

〔実施会場〕 埼玉県県民健康センター

〔費用〕 賞状・額・栄光旗・栄光楯・会長特別賞トロフィー制作代等

(2) 公益財団法人埼玉県スポーツ協会体育優良児童生徒表彰

〔事業内容〕 スポーツ全般において優秀な成績を収めるなど、敬愛を受け真に他の生徒の模範となる生徒を表彰する。

〔実施会場〕 各学校の施設。

〔実施時期〕 表彰式は、原則、卒業式で行うこと。

〔経費〕 賞状及び副賞(大野元裕会長の揮毫いりフォトスタンド)

(3) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣)

〔内容〕 地域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及びスポーツ団体を候補者(団体)を推薦する。

10 広報・普及活動事業

〔予算額： 6,272,900円〕

〔事業内容〕 スポーツ活動の普及・振興のため作成した本会キャッチフレーズ「まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役」の活用や「スポーツ埼玉」の発刊、ホームページ、懸垂幕の活用などを行う。

(1) 「スポーツ埼玉」誌の発刊

〔事業概要〕 本会広報誌「スポーツ埼玉」は、本県が取り組んでいるスポーツ施策や本協会が行う講演やシンポジウムなどを掲載する他、国民体育大会埼玉県選手団の活躍(及び成績)、県内の指導者が進める本、本県の体育・スポーツの発展に人生を捧げた偉人などの紹介と多岐にわたってスポーツ情報の発信をしていく。

〔発刊及び作成部数〕 年4回 各11,000部

〔主な配布先〕 県歯科医師会会員(県内歯科医院)、県理容組合加盟店、県内ゴルフ練習場、県健康スポーツ医会会員、県内金融機関(埼玉りそな・武蔵野・埼玉縣信用金庫・JAバンク埼玉)県内各店舗、県内小中高校及び大学、県内公共スポーツ施設、図書館

〔費用〕 印刷製本費・通信運搬費 ※無償配布

(2) IT及びホームページの活用と充実

〔事業概要〕 ホームページを活用し、ブログ式による各種情報の提供をはじめ、スポー

ツ大会やスポーツ活動を撮影した写真提供などの充実を図る。

〔費用〕 サーバー管理料(及び一部更新料)

(3) キャッチフレーズの活用

ア 各種諸事業での横断幕の活用

- ・スポーツ総合センターロビーに掲示
- ・秩父宮自転車道路競走大会に掲示
- ・埼玉県駅伝競走大会(陸上競技場)に掲示

イ 封筒への刷り込み

ウ スポーツ少年団種目別大会等での明記(掲示)

- ・全ての実施要項等に明記

(4) 懸垂幕の活用

〔主な掲示物〕

- ・スポーツ総合センターの掲示
- ・キャッチフレーズ(まず参加のしくスポーツみんなが主役)の掲示
- ・埼玉アイスアリーナに関する掲示
- ・スポーツ安全協会に関する掲示

〔費用〕 懸垂幕作成代

11 埼玉県立武道館の指定管理

〔予算額 : 548,000 円〕

(1) 株式会社サイオーと共同事業体を組織し、埼玉県立武道館の指定管理を行う。

(2) 県立武道館の主催事業について協力・支援を行う。

ア スポーツフェアの開催

〔実施期日〕 令和2年5月10日(日)

〔実施会場〕 埼玉県立武道館(全館)及びスポーツ総合センターアリーナ他

〔対象〕 武道館教室生及び地域住民

〔経費〕 開催経費負担

イ 新春初稽古

〔実施期日〕 令和3年1月4日(月)

〔実施会場〕 埼玉県立武道館(全館)

〔対象〕 武道館教室生

ウ 青少年空手道講習会

〔実施期日〕 令和2年10月24日(土)

〔実施会場〕 埼玉県立武道館

〔対象〕 埼玉県空手道連盟登録者

エ 青少年柔道講習会

〔実施期日〕 令和3年1月31日(日)

〔実施会場〕 埼玉県立武道館

〔対象〕 埼玉県柔道連盟登録者

12 スポーツ活動における安全管理

【予算額：2,400,000円】

(1) 体育協会主催行事にかかる賠償責任保険制度の活用

〔事業概要〕年々、スポーツ傷害やスポーツ事故が増えている中、主催者の事故等への賠償責任に備えるため、本会、加盟市町村体育・スポーツ協会及び加盟競技団体が加入する。

〔保険の概要〕

- 1 契約者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会
- 2 被保険者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会ならびに各市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体
- 3 保険期間：一年間(令和2年度(令和2年4月1日から令和3年4月1日))
- 4 補償内容：対人対物共通てん補限度額：1事故5億円
- 5 免責金額：50万円
- 6 保険金支払の主な場合
 - ・落雷が予想される中、競技を継続したため、発生した落雷により参加者が死傷した。
 - ・イベントの観客を観客席に誘導するミスにより、観客が将棋倒しになり、観客にけが人が発生した。
 - ・イベント中に事故が発生したが、主催者側の過失によりイベントの中断・救助活動が遅れたため、参加者が死傷した。
 - ・大会会場の施設に明らかな破損が認められていたにも関わらず、イベントを強行実施したため参加者が死傷した。

(2) スポーツ傷害保険の活用

〔内容〕総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にスポーツ安全協会(傷害保険)の活用を呼びかけ、安心したスポーツ活動の推進を図る。

(3) リスクマネジメントに係る研修会の促進

〔内容〕総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にリスクマネジメントに係る研修会を行い、安心したスポーツ活動の推進を図る。

13 指定寄付・賛助会員制度の推進

(1) 一般寄付

〔内容〕本会、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ創設支援クラブ等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図る。 ※7-(3)と重複(内容)

(2) 賛助会員制度の推進

〔事業内容〕次代を担うジュニア・ユース年代のスポーツ活動の充実は、活力溢れる郷土埼玉や「スポーツ王国埼玉」づくりに最も重要かつ不可欠と確信し、より充実した事業の展開を図るため、本趣旨にご賛同くださる方々を募る。

14 スポーツ教室の開催

【予算額：3,868,100円】

〔事業内容〕埼玉アイスアリーナを活用し、氷上スポーツの普及と強化を図る。

- (1)アイスホッケー体験教室
 [実施期間] 令和2年4月～8月・7月～9月 計2コース(1コース8回程度)
 [実施会場] 埼玉アイスアリーナ
 [受取参加料] 1名 5,000円(1コース)
- (2)団体利用者スケート教室
 [実施期間] 令和2年6月～令和3年3月
 [実施会場] 埼玉アイスアリーナ
 [受取参加料] 無料
- (3)課外授業用スケート教室
 [実施期間] 令和2年6月～令和3年3月
 [実施会場] 埼玉アイスアリーナ
 [受取参加料] 無料 ※滑走料は受益者負担

公益2 競技力向上事業

目標：次代を担う彩の国アスリート並びに世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成するとともに、天皇杯・皇后杯ともに3位以上を目指す。

1 国民体育大会

【予算額：4,357,114円】

- (1)埼玉県予選会の実施
 [事業内容] 国民体育大会に参加する競技団体に対して公正で公開された選考会の運営を指導・監督する。
- (2)関東ブロック大会埼玉県選手団の編成及び派遣
 [事業内容] 県予選会を経て選ばれた選手で選手団を編成し、第75回国民体育大会・第76回国民体育大会冬季大会関東ブロック大会に選手団を派遣する。
 [競技会場] 神奈川県
 [開催時期] 令和2年5・6・7・8月(各競技により日程が異なる)
- (3)第75回国民体育大会(会期前：水泳含む4競技/本大会：陸上競技含む33競技)
 ア 燃ゆる感動かごしま国体
 [競技会場] 会期前：鹿児島県内 鹿児島市 他 3市町
 本大会：鹿児島県内 鹿児島市 他 13市町村
 [開催期日] 会期前：令和2年9月12日(土)～9月20日(日)
 本大会：令和2年10月3日(土)～10月13日(火)
- (4)第76回国民体育大会
 ア スケート・アイスホッケー競技会
 [競技会場] 愛知県名古屋市 他2市、岐阜県恵那市
 [開催期間] 令和3年1月27日(水)～1月31日(日)
 イ スキー競技会
 [競技会場] 秋田県鹿角市
 [開催期間] 令和3年2月18日(木)～21日(日)

(5) 第 75 回国民体育大会表彰式

〔内 容〕 第 75 回国民体育大会において優秀な成績を収めた団体・個人を表彰。

〔実施期日〕 令和 2 年 11 月 20 日(金) 会場：埼玉会館

〔対 象〕 第 75 回国民体育大会 入賞団体・個人

(6) 国民体育大会功労賞特別表彰(公益財団法人日本スポーツ協会)

〔内容〕 国民体育大会冬季大会または国民体育大会(いずれも本大会)に、都道府県選手団本部役員、監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員(視察員として参加した者は除く)のいずれかの立場で 通算 30 回以上参加した者を推薦。

2 第 1 期強化訓練事業(4 月～本大会直前)

〔予算額：40,000,000 円〕

〔内容〕 県外への遠征試合(合宿)や県内で実施される全国・国際級の強化合宿等への合同合宿及び強化訓練を実施し、スポーツマンシップの下、フェアプレー精神を発揮し 21 世紀に躍進する「スポーツ埼玉」を代表するに相応しい選手の育成・強化を図る。

(1) 本大会強化訓練事業(37 競技)

〔内容〕 競技力の向上とスポーツマンシップの下に、フェアプレー精神の高揚を図り埼玉県を代表するに相応しい選手の育成・強化を図る。

〔対象期間〕 本大会強化訓練事業：競技団体毎に 4 月から 8 月の祝祭日を中心に実施。

〔実施場所〕 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

(2) 直前強化訓練事業

〔内容〕 本大会出場を決めた競技団体に対し、実践的な強化訓練を実施できるよう補助金を交付する。

〔対象経費〕 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

〔対象団体〕 第 75 回国民体育大会本大会出場の競技団体

〔対象期間〕 直前強化訓練事業：出場権獲得後から競技会開始まで。

〔実施場所〕 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

3 第 2 期別強化訓練事業〔助成(補助)事業〕

〔予算額：1,200,000 円〕

〔助成内容〕 本大会で達成できなかった課題を精査し、第 75 回国民体育大会に向けて新たな戦力(選手)の発掘と育成を行うための助成(補助)事業。

〔対象経費〕 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

〔対象団体〕 指定競技団体

〔対象期間等〕 競技団体毎に 10 月から翌年 3 月。祝祭日を中心に実施。

〔実施場所〕 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

4 スポーツ環境整備事業

〔予算額：7,500,000 円〕

(1) 冬季競技重点施策〔助成(補助)事業〕

〔内容〕 強化訓練施設が不足している冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活

- 動の場を確保し強化訓練を実施するための助成(補助)事業。(冬季競技重点施策)
- 〔対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲で補助。
- 〔対象団体〕冬季3競技(スケート・アイスホッケー・スキー) 約150名
- 〔対象期間〕各競技団体毎に4月から翌年3月の祝祭日を中心に実施。
- 〔実施場所〕スケート：埼玉アイスアリーナ、軽井沢スケートリンク、Mウエーブ他
アイスホッケー：埼玉アイスアリーナ
スキー：菅平高原スキー場、八幡平スキー場 他

(2) 競技用器具機材等の整備

5 支援スタッフサポート事業

(1) 医学サポートスタッフの派遣

- 〔内容〕国民体育大会において、本県選手の誤飲によるドーピングの防止、スポーツ傷害の防止やメンタル的サポートなど、医学サポートの充実を図る。
- 〔対象者〕競技団体所属顧問医及び公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー又は医療関係の国家資格を有するトレーナー

(2) 競技別支援スタッフの派遣

- 〔内容〕国民体育大会において本県選手が最大限の競技力を発揮できる環境を整備するため、支援スタッフを派遣する。
- 〔対象者〕競技団体長から推薦のあった者を埼玉県選手団の支援スタッフに委嘱する。
- ア 会長指名派遣
 - イ 支援スタッフ派遣者
 - ウ 競技団体負担派遣者

6 競技団体指定クラブ強化事業〔助成(補助)事業〕 〔予算額：3,750,000円〕

- 〔内容〕各競技で優秀な選手を輩出しているクラブや今後期待されるクラブと連携し、選手強化を行うための強化事業に対して助成(補助)する。
- 〔対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品費・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。
- 〔実施期間〕通年
- 〔実施場所〕各クラブが利用している施設。
- 〔対象団体〕競技団体が推薦するクラブから、本会が指定する。

7 ジュニア育成補助事業 〔予算額：16,079,000円〕※委託費は除く

(1) 彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕

- 〔内容〕県内の将来性の豊かなジュニアアスリートを見出し、その対象の特性や発達段階に応じた定期的・継続的なトレーニング等を実施できる体制を構築することにより、長期的な視点で世界に羽ばたくアスリートの育成拠点の整備を支援する。
- 〔対象経費〕指導者謝金・会場及び機材の借上げ料・連絡通信費・印刷製本費・消耗品費・雑費

〔対象団体〕 国民体育大会実施競技およびオリンピック大会実施競技のうち本会に加盟する競技団体

〔実施時期〕 概ね月一回で年 10 回以上。トレーニングは一回あたり 2 時間を上限とし、一日あたり 5 時間を超えないものとする。

(2) 彩の国アスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕 【新規・委託事業】

〔内容〕 世界に羽ばたくトップアスリートを輩出することを目指し、各競技団体と連携して県内の高い競技水準を有する者に対して、より高水準のトレーニング環境における定期的・継続的なトレーニング等を実施できる体制を構築し、本県アスリートの育成拠点の整備を支援するため彩の国アスリートアカデミーを開催する。

〔対象経費〕 指導者謝金・会場及び機材の借上げ料・連絡通信費・印刷製本費・消耗品費・雑費

〔対象団体〕 国民体育大会実施競技およびオリンピック大会実施競技のうち本会に加盟する競技団体の中から 3 団体程度を選定

〔実施時期〕 概ね月一回で年 10 回以上。トレーニングは一回あたり 2 時間を上限とし、一日あたり 5 時間を超えないものとする。

(3) 次世代アスリートの発掘・育成事業 【新規・委託事業】

ア 彩の国 Platinumkids 発掘・育成事業

〔内容〕 高い身体能力を有する小学生年代のアスリート候補を発掘・認定し、県競技団体と共にそれらのアスリートが自己の可能性を最大限に上げられる環境を整えつつ、競技団体が優れた資質を有する人材の獲得に資する支援を企図する。

(ア) 発掘プログラム

〔募集対象〕 県内小学校 4 年生ならびに過年度最終選考会に参加した者のうち、本会が参加を認める者

〔募集期間〕 令和 2 年 7 月 1 日(水)から 10 月 31 日(土)

〔選考方法〕 第 1 ステップ 新体力テスト結果による書類選考
第 2 ステップ 発掘測定会の実技結果による選考

〔発掘測定会〕 令和 2 年 12 月 6 日(日) 埼玉県立武道館

(イ) 対象者への研修の実施(育成プログラム)

〔実施期間〕 4 月から 3 月

〔主なプログラム〕 アスリート教育プログラム、運動能力開発プログラム、体力測定等

(ウ) パスウェイプログラム

〔実施期間〕 4 月から 3 月のうち競技団体が定める日時・会場

〔主なプログラム〕 競技体験プログラム 1、競技体験プログラム 2

イ 彩の国 Platinumjunior 発掘・育成事業

〔内容〕 特定の競技に関わる非凡な能力を有する県内中学生年代のアスリートを新たに発掘・認定し、本県のスポーツ資源を活かしたサポートを通じて、それらのアスリートが自己の可能性に挑戦できる環境を整え、世界を目指して活躍するアスリートの輩出を企図する。

(ア)発掘プログラム

〔募集対象〕 県内小学校6年生、中学1年生、中学2年生

〔募集期間〕 令和2年7月1日(水)から10月31日(土)

〔選考方法〕 第1ステップ 新体力テスト結果による書類選考
第2ステップ 競技団体トライアウトによる選考

〔トライアウト〕 令和2年12月6日(日) 埼玉県立武道館

(イ)育成プログラムのモデルプログラム開発

〔実施日〕 令和3年2月下旬

〔主なプログラム〕 障害予防プログラム、スポーツ科学教育プログラム
メディカルチェック 等

(ウ)競技専門トレーニングのモデルプログラムの開発(パスウェイプログラム)

〔実施日〕 令和2年11月中旬～下旬

〔対象〕 発掘プログラム第2ステップ参加申込者

〔主なプログラム〕 競技専門トレーニング

ウ 彩の国Platinumathlete 発掘・育成事業

〔内容〕 本県の次世代を担うトップアスリート候補者が国内主要大会や国際大会等に万全な状態で挑戦できるよう、スポーツ医・科学サポート等を効果的に活用できる体制を整備し、本県からより多くのトップアスリートが持続的に輩出されることを目的に実施する。

(ア)発掘プログラム 〔令和2年度対象者の選考は埼玉県が執行〕

〔趣旨〕 将来、国際大会や国民体育大会で活躍できるトップアスリートを本県から輩出するため、令和3年度対象者の選考を本会が開催する選考会議において発掘する。

〔選考人数〕

30名程度(令和3年度予算によって変更することがある)

(イ)競技力向上サポート

〔内容〕

a 彩の国アスリートサポートパートナーシップ制度の構築

各専門家が自身の得意分野を活かしたアスリート支援活動ができる制度を整え、本県スポーツ人材の育成と人材確保を促すパートナーシップを構築し、本県アスリートが競技力向上に打ち込める環境を整えることを目的とする。

b パートナーによる彩の国アスリート等への専門的サポートの提供

パートナーとの連携を図り、該当選手のニーズに基づいたトレーニングプランの作成、メニュー作成支援・提供、研修機会の提供等を実施し、継続的に当該選手の育成・強化活動をサポートする。

c その他のサポート

競技力向上に有益なサポート手法を開発・検討する

d 活動経費の助成

当該アスリートの育成・強化活動に関わる経費の一部を助成する

〔専門家によるサポートの例〕

フィジカルトレーニング指導、けが予防指導、栄養指導、メンタル指導、スポーツ科学支援、アスリートライフスタイル支援、その他

〔実施期間〕令和2年4月～令和3年3月

〔経費〕パートナー派遣等に伴う経費は本会規程に基づき本会が支出する。

(4) ジュニア強化対策合同会議

〔内容〕ジュニア期(小学4年～高校生)のアスリートを発掘・育成する競技団体や中・高体連の指導者が一堂に会し、競技力向上に関する現状や課題等を共有するなど、相互の連携を深めることで一貫指導体制の構築をより一層推進し、世界に羽ばたくアスリートの育成・強化基盤の整備と連携強化を支援する。

〔開催期日〕令和2年12月9日(水)

〔実施会場〕スポーツ総合センター

8 中・高体連育成強化事業の実施

〔予算額：8,600,000円〕

〔内容〕中・高校一貫指導により有望選手の早期発掘と県内定着を図り、世界に羽ばたく彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会での活躍により、愛郷心を芽生えさせ世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。

〔対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

〔実施期間〕4月から7月の祝祭日を中心に実施する。(中学生においては8月上旬まで)

〔実施場所〕当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

〔対象団体〕埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟

9 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱

〔予算額：89,200円〕

〔事業内容〕埼玉県と連携・協力し、当該年度の国体候補選手、監督、指導者が、より一層の競技力向上を図れるよう、所属する高等学校長及び中学校体育連盟会長を強化特別委員として委嘱する。

〔実施期日〕令和2年6月3日(水)

〔実施会場〕埼玉県県民健康センター

〔費用〕会場使用料及び当日の会議参加者旅費交通費

10 埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議

〔予算額：150,000円〕

〔内容〕競技力向上に関する指導者を対象に、トレーニングや技術指導等に関する研修を行うとともに、第75回国民体育大会『燃ゆる感動かごしま国体』での必勝体制の確立を図る。

〔実施期日〕令和2年7月8日(水)

〔実施会場〕スポーツ総合センター 講堂及び各研修室

〔対象者〕国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者

〔経費〕受取参加料：無料 講師謝金

11 埼玉スポーツの未来を考えるシンポジウム 【予算額：889,250円】

〔内容〕 競技団体及び支援企業・大学等の関係者が一堂に会し、本県のスポーツの未来について協議し、相互理解と協力体制の確立を図る。

〔実施期日〕 令和3年1月中旬

〔実施会場〕 調整中

〔対象者〕 支援企業・大学、競技団体及び本会役員等

〔受取参加料〕 一人8,000円(懇親会費)

12 埼玉県スポーツ指導者研修会 【予算額：378,000円】

(1) 第1回埼玉県スポーツ指導者研修会

〔内容〕 長年培った選手育成のノウハウとスポーツ科学に基づく競技力向上を図るための研修会を実施する。

〔実施期日〕 令和2年12月5日(土) 会場：スポーツ総合センター

〔対象者〕 公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ・競技団体指導者

〔経費〕 受取参加料：1,000円

(2) 第2回埼玉県スポーツ指導者研修会

〔内容〕 公認スポーツ指導者及び競技団体強化担当指導者の資質の向上と活動の促進を図る研修会を実施する。(公認スポーツ指導者制度に基づいた義務研修)

〔実施期日〕 令和3年2月27日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔対象者〕 各競技団体推薦者等・日本スポーツ協会公認コーチ

〔経費〕 受取参加料：1,000円

13 競技別義務研修会 (14事業) 【助成(補助)事業】 【予算額：550,000円】

〔内容〕 埼玉県スポーツ指導者協議会と連携し競技別義務研修会を実施する。

〔対象経費〕 研修会にかかる講師謝金・会場借上げ料・通信運搬費

〔助成金額〕 定額50,000円

〔助成団体〕 埼玉県スポーツ指導者協議会の競技別指導者協議会

〔対象者〕 公認スポーツ指導者

14 国際競技派遣事業 【予算額：400,000円】

〔内容〕 本県競技団体所属の選手が、日本を代表して国際大会に出場する際の経費について、定額補助により個人負担の軽減を図る。

〔助成金額〕 一人10,000円(オリンピック競技会出場者は20,000円)

15 選手強化対策委員会要覧及びコーチのしおり等の作成 【予算額：1,453,000円】

〔内容〕 国民体育大会本大会の強化事業に役立てるため作成する。

(1) 選手強化対策委員会要覧

〔発刊時期〕 6月

〔配布先〕 競技団体及び教育関係機関

〔費用〕印刷製本費

(2) スポーツ科学委員会会報

〔発刊時期〕6月 〔作成部数〕200部

〔配布先〕加盟団体・スポーツ科学委員会委員

〔費用〕印刷製本費

(3) コーチのしおり

〔発刊時期〕3月 〔作成部数〕750部

〔配布先〕競技団体及び教育関係機関

〔費用〕印刷製本費

16 スポーツ科学研究事業

〔予算額〕1,048,000円

〔内容〕スポーツを医学的、科学的、コーチング、アンチ・ドーピングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進と生涯スポーツの振興を図る。

(1) アンチ・ドーピング教育啓発事業(旧 ドーピング防止教育啓発事業)

〔内容〕高等学校総合体育大会・国民体育大会結団式及び国民体育大会選手選考会議、各種研修会等でアンチ・ドーピング教育・啓発研修を実施する。

〔対象事業・実施時期〕コーチ研修会(7月)

高校総体結団式(7月)

国民体育大会選考会議(9月)

国民体育大会結団式・壮行会(9月)

アンチ・ドーピングホットライン：通年

〔対象者〕コーチ研修会：国体実施40競技団体選手強化関係者

高校総体結団式：インターハイ出場選手・関係者

国民体育大会選考会議：競技団体役員・監督

国民体育大会結団式：本大会出場選手・監督

アンチ・ドーピングホットライン：全競技者

〔経費〕講師謝金：1会場1名6,000円

(2) スポーツ医・科学相談事業

〔内容〕世界に羽ばたくトップアスリートを継続的に輩出するため、スポーツ医・科学の知見に基づく専門家からの指導、助言を提供できる体制を構築する。加えて、それらの活動により得られたデータを継続的に蓄積・分析することにより本県競技力の向上に活用する体制を整備する。

〔実施時期〕令和2年4月～令和3年3月

〔実施会場〕スポーツ総合センター

〔対象者〕ジュニア育成補助事業対象者および過年度Platinumkids修了生

(3) 国体選手(彩の国アスリート)の健康管理事業

〔内容〕国体候補選手の間診票による健康管理。

〔実施時期〕配布：令和2年5月

回収：令和2年8月(候補選手確定まで)

〔実施会場〕国民体育大会埼玉県選手候補の間診票：本会で回収、ドクター及び薬剤師

が所見

〔対象者〕 国民体育大会埼玉県選手候補

〔経費〕 無料

(4) 国民体育大会帯同ドクター派遣

〔内容〕 ドーピングコントロールとスポーツ障害の防止を図るため、スポーツドクターを本部役員として選手団に帯同させ、ドーピングの防止に努めるとともに、選手・監督の要請を受け、スポーツ傷害の防止並びにメンタル的サポートを行なう。なお、帯同ドクターは、日本スポーツ協会が定めた選手団編成基準の役員に位置付けられている。

〔派遣予定者数〕 7名(会期前：2名・本大会3名・スケート・アイスホッケー1名・スキー1名)

〔派遣期間〕

ア 会期前競技会(4競技) 令和2年9月12日(土)～9月20日(日)

イ 本大会(33競技) 令和2年10月3日(土)～10月13日(火)

ウ 冬季(スケート・アイスホッケー競技会) 令和3年1月27日(水)～1月31日(日)

エ 冬季(スキー競技会) 令和3年2月18日(木)～2月21日(日)

〔経費〕 ドクターの派遣にかかる諸謝金

(5) 研修会・講演会の開催

ア トレーナー研修会

〔事業内容〕 国民体育大会におけるトレーナーの役割等について互いの共通理解を深めるとともに、技量及び資質向上を図るため実施する。

〔実施時期〕 第1回 9月

第2回 3月

〔実施会場〕 第1回 さいたま市浦和コミュニティセンター

第2回 さいたま市浦和コミュニティセンター

〔経費〕 受取参加料：無料

講師謝金：10,000円

イ コーチングセミナー

〔内容〕 本県スポーツの競技力向上の核となる選手強化に携わる指導者及び将来その担当となる次世代の指導者を対象にスポーツ指導者に必要な最新情報を提供し、国内外で活躍できるトップアスリートの育成を目指すとともにスポーツ科学の知見を活用した競技者育成手法を普及する。

〔実施期日〕 令和3年1月23日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔対象者〕 競技団体指導者

〔助成金額〕 50,000円(講師謝金)

公益3 スポーツ少年団事業

目標：スポーツを通して、次代を担う青少年の健全育成を図るとともに、それらを育む指導者の養成と資質の向上を図る。

1 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

〔予算額 16,712,040円〕

(1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催(13種目)

〔事業内容〕 個々のスポーツの特性(ルールや指導技術など)を学び、それらを習得する過程でマナー・モラルについて研鑽し次代を担う人づくりを行う。

あわせて、子どもたちを指導する大人たちの資質の向上を図る。

〔実施種目〕 サッカー・軟式野球・バスケットボール・バレーボール・剣道・ソフトボール・空手道・柔道・バドミントン・ソフトテニス・体操・複合・駅伝

13種目

ア 軟式野球

- 第39回夏季小学生軟式野球交流大会
- 第45回小学生軟式野球交流大会
- 第43回中学生軟式野球交流大会
- 第16回女子団員交流大会

イ サッカー

- 第49回埼玉県サッカー少年団大会
- 第6回埼玉県スポーツ少年団U-10サッカー大会

ウ バスケットボール

- 第39回ミニバスケットボール交流大会
- 第21回ジュニアリーダーバスケットボール交流大会

エ バレーボール

- 第39回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会
- 第15回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会
- 第17回埼玉県スポーツ少年団中学生交流大会
- 第18回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会埼玉県決勝大会
- 第8回埼玉県スポーツ少年団混合大会

オ 剣道

- 第44回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会
- 第43回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会

カ ソフトボール

- 第43回ソフトボール中央大会

キ 空手道

- 第36回空手道交流大会

ク 柔道

- 第42回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

ケ バドミントン

- 第39回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)

- 第 27 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(個人戦)
- コ ソフトテニス
 - 第 41 回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会
 - 第 7 回交流団体戦
- サ 複 合
 - 第 40 回複合種目大会
- シ 駅 伝
 - 第 37 回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会
- ス 体 操
 - 第 10 回埼玉県スポーツ少年団体操競技交流大会

〔実施期間〕 令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月

〔実施会場〕 県内各地

(2) 東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業

〔事業内容〕 東日本大震災後、自由に外遊びやスポーツ活動をする事ができない福島県の子供たちに、本県スポーツ少年団団員とスポーツ交流を通じて、子どもたちの笑顔の力で、一日でも早い被災地の復興を祈念する交流事業。

〔実施期日〕 令和 3 年 2 月 13 日(土)～14 日(日)

〔実施会場〕 国立磐梯青少年交流の家

〔参加対象〕 福島・埼玉県スポーツ少年団 小学生団員 各 80 名

〔費用〕 参加者の宿泊費は県本部が負担

※埼玉県スポーツ少年団大会と合同実施

※今後、受入・派遣と隔年で実施していく。

2 第 47 回日独スポーツ少年団同時交流事業 **〔予算額 2,450,000 円〕**

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団とドイツスポーツユース間の、「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づき、両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与するための事業。

(1) 派遣事業

〔派遣期間〕 7 月 27 日(月)～8 月 6 日(木)

〔派遣場所〕 ドイツ連邦共和国

〔派遣人数〕 団 員 3 名

※2020 年度はオリンピック開催の関係上、関東 I グループ、関東 II グループ合同。

※通常、指導者の派遣は茨城県と隔年派遣

〔費用〕 個人負担 250,000 円(内県本部補助 団員：100,000 円)

(2) 受入事業

〔受入期間〕 令和 2 年 8 月 12 日(水)～16 日(日)(4 泊 5 日)

〔受入本部〕 桶川市スポーツ少年団

〔受入人数〕 指導者 1 名・団員 11 名

〔経 費〕 1,250,000 円(桶川市へ支払助成金)

(3)2020 日独スポーツ少年団ユースキャンプ

〔内容〕日独両国のスポーツ少年団の青少年交流を通じて、オリンピックの理念の特別な効果、国際交流によってもたらされる価値の体験、そしてスポーツに対する共通理解を深めることによって、言語や文化を超えた両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的に実施する。

〔実施期間〕令和2年7月23日(木)～8月6日(木)14日間

〔受入人数〕ドイツ団：指導者 10名 団員 50名 計60名
日本団：指導者 10名 団員 43名 計53名

3 指導者養成・研修事業

〔予算額：6,313,700円〕

(1)スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

(県本部開催：1コース 市町村開催：10コース)

〔事業内容〕日本スポーツ協会指導者制度に基づき、単位団活動で指導にあたる指導者の養成。(検定合格者は所定の手続きを行う事により、公益財団法人日本スポーツ協会公認スタートコーチ(スポーツ少年団)が付与される。)

ア 県本部開催

〔実施期日〕令和2年10月26日(土)・27日(日)

〔実施会場〕スポーツ総合センター

〔対象者〕令和3年度スポーツ少年団指導者登録予定者

〔受取参加料〕3,000円

イ 市町村開催〔助成(補助)事業〕

〔実施期間〕5月～2月

〔実施会場〕県内15箇所

〔対象者〕令和2年度スポーツ少年団への指導者登録予定者。

〔受取参加料〕3,000円程度(各会場で異なる)

(2)スタートコーチインストラクター研修会(旧認定育成員研修会)

ア 日本スポーツ少年団開催への派遣

〔内容〕2020年4月に日本スポーツ少年団指導者制度が廃止され、日本スポーツ協会指導者制度に移行される事に伴い、2020年度から新たに養成する「スタートコーチ(スポーツ少年団)」養成講習会で講師を充実させるため、旧認定育成員等に参加を促す。

〔開催期間〕10月～11月

〔開催会場〕研修会：東京都 他 講習会：大阪府

〔支払参加料〕研修会：一人2,200円(×参加者実数)

講習会：一人4,400円(×参加者実数)

イ 埼玉県スポーツ少年団開催事業

〔事業内容〕スポーツ少年団の牽引役を担う「旧認定育成員」並びに「スタートコーチインストラクター」が一堂に会し、今日的課題についての研究や・情報交換を通し、認定育成員の更なる資質向上と、スポーツ少年団の活動体制の充実を図る。

〔実施時期〕 12月

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

(3) 登録指導者研修会〔助成(補助)事業〕

〔内容〕 スポーツ少年団登録指導者の資質の向上を図るために開催する研修事業へ補助金を交付する。

〔実施期日〕 令和2年4月1日～令和3年3月31日

〔事業数〕 15コース

〔支払補助金〕 1コース 30,000円(事業規模 40,000円以上・市町村負担 10,000円以上)

〔受取参加料〕 原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

(4) 母集団研修会〔助成(補助)事業〕

〔内容〕 少年団の育成とその活動の充実を図るために母集団の結成と活動を促進する研修事業へ補助金を交付する。

〔実施期間〕 令和2年4月1日～令和3年3月31日

〔事業数〕 21コース

〔支払補助金〕 1コース 50,000円(事業規模 80,000円以上・市町村負担 30,000円以上)

〔受取参加料〕 原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

(5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修

〔事業内容〕 県内市町村スポーツ少年団の種目別指導者が参加し、種目別大会の今後の運営方法について協議するとともに、相互の情報交換と情報提供を行う。

〔実施期日〕 令和3年1月30日(土)・31日(日)

〔実施会場〕 群馬県安中市磯部

〔対象者〕 各市町村本部役員・各市町村種目別代表者・各市町村事務担当者

〔受取参加料〕 16,000円

〔講師謝金〕 50,000円×2名

〔会場費〕 250,000円

(6) 研究大会等派遣

ア ジュニアスポーツフォーラム派遣(旧スポーツ少年団指導者全国研究大会、旧ジュニアスポーツの育成と安全・安心フォーラムの統合事業)

〔実施期日〕 令和2年6月28日(日)

〔実施会場〕 東京都

〔支払参加料〕 1,100円(参加者自己負担)

イ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会派遣

〔事業内容〕 関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法等について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するために開催される研究協議会に関係者を派遣する。

〔開催期日〕 令和2年11月6日(金)・7日(土)

〔開催場所〕 ホテルおかだ(神奈川県)

〔派遣者数〕 5名

〔支払参加料〕 13,000円(一名につき)

※関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会は関東各都県輪番制(8年毎に開催)

4 リーダー養成・研修事業

【予算額：1,667,048円】

(1) シニア・リーダースクール派遣

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、ジュニア・リーダー修了者を対象に単位団及びリーダー会において模範となって活動する団員を派遣する。

〔開催期日〕 令和2年9月19日(土)～9月22日(火)

〔開催会場〕 静岡県 国立中央青少年交流の家

〔対象者〕 令和2年度スポーツ少年団団員登録を行い、義務教育を終了した20歳未満で、リーダースクール(ジュニアコース)修了者。

〔支払参加料〕 16,200円(一人)

(2) ジュニア・リーダースクールの開講

ア ジュニアリーダースクール(県本部開催)

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、中学生を対象に単位団において模範となって活動する団員を育てる。

〔開催期日〕 令和2年12月25日(金)～27日(日)

〔対象者〕 各市町村スポーツ少年団における登録リーダーで、現在スポーツ少年団活動を行っており、将来もリーダー・指導者として活動のできる中学生

〔受取参加料〕 9,000円(一人)

イ ジュニア・リーダースクール補助事業(助成(補助)事業)

〔事業内容〕 小学生を対象に、将来ジュニア・リーダーを目指す団員を養成する。

〔実施予定〕 5コース

〔支払補助金〕 50,000円(総額100,000円)

(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣

〔事業内容〕 都道府県におけるリーダー会及びリーダー活動の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する。

〔期日〕 令和2年6月27日(土)・28日(日)

〔会場〕 東京 国立オリンピック記念青少年総合センター 他

〔対象者〕 リーダー育成担当指導者1名 代表リーダー1名

〔支払参加料〕 無料

(4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会派遣

〔事業内容〕 都県の市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する。

〔開催期日〕 令和2年10月17日(土)・18日(日)

〔会場〕 山梨県

〔対象者〕 リーダー育成代表者1名 リーダー会代表3名

〔受取参加料〕 2,000円(一人)

(5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成

〔事業内容〕 埼玉県スポーツ少年団リーダー会は、リーダーが持つ共通の課題などの情報交換や、今後の活動に活かす勉強会や、交流会活動などの事業を支援する

ため補助を行なう。

また、埼玉県スポーツ少年団大会やジュニアリーダースクールなど、県本部事業への協力も要請する。

〔支払補助金〕 200,000 円

5 地域交流補助事業

〔予算額：4,000,000 円〕

〔事業内容〕 スポーツ少年団活動の活性化と地域交流の促進を図るため、2市町村以上のスポーツ少年団が参加して実施される事業へ補助金を交付する。

〔実施予定数〕 80 事業

〔支払補助金〕 50,000 円(総額：100,000 円 市町村負担 50,000 円以上)

6 国内交流大会派遣事業

〔予算額：1,093,768 円〕

(1) 全国スポーツ少年大会(リーダーズアクション 2020)

〔事業内容〕 各都道府県代表の団員及び指導者の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動・文化活動・野外活動・交歓交流活動等を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図るため、本県少年団代表者を派遣する。

〔開催期日〕 令和2年7月31日(金)～8月3日(月)

〔開催会場〕 静岡県

〔対象者〕 引率指導者 1名 中高校生(ジュニアリーダー資格保有者) 5名

〔支払参加料〕 1人 13,200 円

(2) 関東ブロックスポーツ少年大会

〔事業内容〕 関東ブロックにおけるスポーツ少年団活動の活発化と交流活動の促進を図ることを目的に開催される野外活動の大会へ団員及び引率指導者を派遣する。

〔開催期日〕 令和2年8月7日(金)～9日(日)

〔開催会場〕 茨城県立中央青年の家

〔参加対象〕 引率指導者 1名 小学6年生・中学生以上の団員 15名

(3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

〔事業内容〕 軟式野球を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施される大会へ本県代表団を派遣する。

〔実施期日〕 令和2年8月6日(木)～9日(日)

〔実施会場〕 岩手県

〔参加対象〕 第39回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の勝者2チーム

〔経費〕 支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

(4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会

〔事業内容〕 剣道を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会へ本県代表を派遣する。

〔期日〕 令和3年3月下旬

〔会場〕 福島県

〔参加対象〕 団体1チーム 個人(中学生)男女各1名

〔経費〕 支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

(5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

〔事業内容〕 バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会へ本県の代表団を派遣する。

〔期日〕 令和3年3月下旬

〔会場〕 宮城県

〔参加対象〕 女子1チーム

〔経費〕 受取参加料：無料 派遣費補助：5万円

(6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

〔事業内容〕 団員に競技の喜びを経験する機会を提供すると共に、関東地区間の団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることをねらいとして開催される大会へ、本県の代表団を派遣する。

〔開催期日〕 令和2年9月20日(土)～22日(月)

※軟式野球は全国大会予選を兼ねているため 7月18日(土)・19日(日)

〔開催会場〕 千葉県

総合開会式：千葉県総合スポーツセンター

軟式野球：成田市中台運動公園野球場・ナスパスタジアム(成田市)

バレーボール：東金アリーナ(東金市)

バスケットボール：中台運動公園体育館(成田市)

バドミントン：印西松山下公園総合体育館(印西市)

空手道：浦安市運動公園総合体育館(浦安市)

〔対象種目〕 軟式野球・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・空手道
5種目6団

※バスケットボールは、男女各1団

※バドミントン・空手道は県内選抜

〔経費〕 支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

7 埼玉県スポーツ少年団表彰

〔予算額：744,200円〕

〔内容〕 スポーツ少年団において永年活動してきた指導者を表彰し、今後より一層の活動を促し、スポーツ少年団発展に寄与する。

〔期日〕 令和2年12月19日(土) 会場：東武バンケットホール上尾

〔経費〕 受取参加料：6,000円

8 日本スポーツ少年団顕彰

〔内容〕 永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある市区町村スポーツ少年団を推薦し、日本スポーツ少年団が表彰する。

なお、伝達式は、埼玉県スポーツ少年団表彰において実施をする。

9 スポーツ少年団「スポーツ ともだち 仲間たち」の発刊〔予算額：939,900円〕

〔内容〕県スポーツ少年団で行った事業や調査結果等を集約し、日頃の活動に役立てるために情報提供を行なう。

〔発刊時期〕7月・12月・3月 発刊部数：6000部／1回

〔配布先〕各市町村スポーツ少年団本部・スポーツ少年団登録団(3部)

〔経費〕3回分製作代

公益4 スポーツ総合センター運営事業 〔予算額：73,185,000円〕

1 スポーツ総合センターの管理・運営

(1) 施設利用に係る受付業務

〔内容〕体育施設、研修施設、宿泊施設の利用について、年間の利用調整、利用申請の受付、施設使用料の徴収などを行う。

(2) 施設設備の維持管理

〔内容〕建物や設備の維持管理を行うとともに、業務委託契約に係る業務進捗状況等の確認を行う。

(3) トレーニング場利用者講習会

〔内容〕トレーニング場を個人利用するための講習会を行う。

〔実施期間〕毎月2回(8月を除く)

〔経費〕テキスト代200円(コピー代)

収益1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

東京ハイランド(有)へ委託運営

収益2 埼玉アイスアリーナの管理運営

パティネレジャー(株)へ委託運営

法人 県スポーツ協会運営事業

1 諸会議

(1) 評議員会 年2回 (5月・3月)

(2) 理事会 年4回 (5月・9月・12月・3月)

(3) 加盟団体協議会 (5月・3月)

(4) 市町村連絡会議 (6月：県内東西南北各1会場(計4会場))

(5) 専門委員会

- ア 総務委員会 年4回 (5月・9月・12月・3月)
- イ 選手強化対策委員会
 - ・強化対策常任委員会 年3回(4月・9月・12月)
 - ・強化対策委員会 年3回(4月・9月・1月)
 - ・競技団体強化・経理担当者合同説明会 年1回(4月)
 - ・国民体育大会候補選手等強化特別委員会 年1回(6月)
 - ・第75回国民体育大会埼玉県選手団監督・選手選考会議、監督会議 年1回(9月)
 - ・第76回国民体育大会競技別強化対策会議(11月：2日間)
 - ・ジュニア強化対策合同会議 年1回(12月)
 - ・彩の国アスリート育成推進会議 年4回(4月・9月・12月・3月)
- ウ 普及委員会 年1回 (8月)
- エ 広報委員会 年1回 (6月)
- オ 施設委員会 年1回 (7月)
- カ スポーツ科学委員会 年2回(6月・3月)
 - ・スポーツ科学専門部会 年3回(6月・11月・3月)
 - ・スポーツ医学専門部会 年3回(6月・3月)
 - ・コーチング専門部会 年4回(6月・7月・10月・2月)
 - ・アンチ・ドーピング専門部会 年3回(5月・7月・3月)
- カ 指導者委員会 年1回(7月)

※その他、諮問委員会、特別委員会、各種打合せ及びスタッフ会議は適宜開催。

(6) 特別委員会

- ・100周年特別委員会 年1回

(7) その他

- ア スポーツ少年団
 - ・本部員会 年5回(5月・7月・10月・12月・3月)
 - ・代議員会 年1回(6月)
 - ・ブロック本部長会議 年4回(県内4地区各1回：11月～12月)
 - ・スポーツ少年団3専門委員会(指導者・リーダー育成委員会、企画広報委員会、活動交流委員会)及び指導者協議会、種目別担当者会議等(通年)
 - ・市町村スポーツ少年団事務担当者会議 年1回(3月)
 - ・埼玉県スポーツ少年団県大会及びジュニアリーダースクールスタッフ会議
- イ スポーツ指導者協議会
 - ・理事会 年2回(6月・1月)